



向台

6月号

平成27年6月1日

中野区立向台小学校

感動で心が震えた春季大運動会

お子様さの成長をぜひ言葉に

必死に競技、演技をする日焼けした顔に、胸が熱くなります。子どもたちの真剣な姿に、感動で心が震えました。

5月23日（土）に開催された春季大運動会は、多くのご声援とご協力をいただく中で、大きな成功を収めることができたと考えております。運動会は全校的な体育的教育活動の発表の場ではありますが、この行事を通して児童の体力面とともに精神面の大きな成長を実感することができました。個人だとくじけそうなことも、集団だからこそ達成できることも多いのが運動会です。その分、プレッシャーやストレスも多くありますが、自分の殻を抜け出せるチャンスでもあります。以前の自分と違う自分自身をつかんでくれればと思っています。ご家庭でも、この運動会を通してお子様が成長した事を、ぜひ言葉に出して語りかけてください。照れながらも、心の中では確かな自信へとつながっていきます。

また、PTA 役員の方々を中心とした会場運営や当日の呼びかけで片付け等にご協力をいただきました保護者の皆様に、感謝申し上げます。今年はおやじの会の初仕事としても、ご協力いただきました。様々な方々のご協力をいただき、ありがとうございました。

小中連携教育の充実

6月5日（金）に第1回目のオープンキャンパスがあります。今回は中学校の授業見学をした後に、部活動の見学をします。9月の第2回目には、実際に部活動の体験を予定しています。

このオープンキャンパスの他に、「乗り入れ授業」も行います。6月には向台小学校の教員が二中へ、1月～2月には二中の教員が向台小学校へ授業に入ります。今年度の特徴は、向台小学校が行う乗り入れ授業の内容は、全て英語活動、英語科授業です。本校は英語活動を1～4年生も実施していることから、英語により親しみを感じ中学校への憧れをもってほしいというねらいから英語を中心に取り組んでいきます。

今年度も二中と連携をさらに親密に取りながら、小中連携教育に取り組んでいきます。

保護者向け本の紹介①

「Q&A こころの子育て—誕生から思春期までの48章」(朝日文庫) 河合隼雄 (著)

子どもは、本の力、言葉の力で成長できることがたくさんあると考えています。読書好きの子どもに育て、生涯にわたって読書に親しむようになってほしいと願っています。

そして大人もまた、本の言葉から励まされることも多くあります。子育て真っ最中の保護者の方も、いろいろと悩むことや不安に感じることもあると思いますが、本の言葉から勇気をもらい救われる気持ちなることがたくさんあるはずです。私自身も子育て中の親として、同じように勇気をもらった本を、少しずつ紹介していければと思っています。

まず始めは、河合隼雄の「Q&A こころの子育て—誕生から思春期までの48章」(朝日文庫)を紹介します。

自然体の子育てでいいんだと、気持ちが楽になります。話し言葉で、とても読みやすく書かれています。男親についての内容もあり、お父さん方もぜひ読んでほしいです。子育てと自己実現の意味を理解することができ、子育てにチャレンジする気持ちが湧いてきます。

6月の生活目標 ～仲良く生活しよう～

・友達と仲良く遊ぼう・友達の良い所を見つけよう